

食道がん患者の術後早期の予後評価における術前負荷心電図検査での運動耐容能評価の有効性

1. 研究の対象

術前負荷心電図検査を施行し、2019年1月から2020年9月までに、当院で食道がん手術を鏡視下にて施行された方。

2. 研究目的・方法

本邦は超高齢化社会に突入しており、今後フレイルなど体力の低下した患者さんの手術の増加が予想されます。食道がん手術を受ける患者さんは、その高侵襲手術により術後ICU管理を要しますが、術前の全身の機能低下状態によっては術後合併症としての創傷治癒遅延、肺炎などの合併症により生命予後の増悪が危惧されます。患者さんの術前機能評価として、当院では虚血や不整脈の有無を評価するためにマスターダブル負荷心電図検査を行っておりますが、この検査自体、低運動耐容能患者さんでは過負荷になっている可能性があります。

今回、2019年1月から2020年9月までに、当院で食道がん手術を鏡視下にて施行された患者さんを対象とし、術前に施行された負荷心電図検査において脈拍の回復が遅延した患者さんを過負荷群としました。その上で、術後早期の予後評価としての、ICUにおける入室後SOFAスコア、アパッチスコア、モニトラック挿入、ハイフロー治療の有無、頻脈系不整脈発生の有無、ICU在室日数や術後在院日数を脈拍回復群（正常群）と比較検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診療録 等

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 麻酔科 藤田 泰宣

様式第 1-4 (2018. 4. 1 版)

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1900

研究責任者：

大阪国際がんセンター 麻酔科 藤田 泰宣

-----以上